

# ノーサイド

北原 巖 男

「う」を意味します。本紙読者の皆さんは、このような歌詞の歌を聴いたことがありますか。

「あなたから苦しみを奪えたその時 私にも生きてゆく 勇気がわいてくる あなたと出会うまでは孤独なさすらい人 その手のぬくもりを 感じさせて 愛はいつもフラバイ 旅に疲れた時 ただ心の友と私を呼んで……」

先日、外務省の青少年交流事業で日本訪問中の東ティモールの若者たち16名に会いました。そのとき彼らが歌ったのが「カンタ ココロノトモ」。

「なんだそれ」と思われるかもしれませんが、カンタ(kanta)は、東ティモールの言葉テトゥン語で「歌」とか「歌

う」を意味します。本紙読者の皆さんは、このような歌詞の歌を聴いたことがありますか。

ところでココロノトモってどんな意味だ？」と聞いてきたときには、突然饒舌になった自分を思い出します。

東ティモールでは、今も世代を超えて多くの皆さんがこの歌を日本語で歌い続けているのです。大学の卒業式では、フラスバンドが演奏もしていました。

「カンタ ココロノトモ」は、五輪真弓さんの歌「心た、とのことです。この歌がインドネシアでヒットした1980年代

「あなたから苦しみを奪えたその時 私にも生きてゆく 勇気がわいてくる あなたと出会うまでは孤独なさすらい人 その手のぬくもりを 感じさせて 愛はいつもフラバイ 旅に疲れた時 ただ心の友と私を呼んで……」

## カンタ ココロノトモ

め日本では一般に知られることはなかった。1983年に、五輪真弓さんのコンサートで同曲を聴き感銘を受けたインドネシアの関係者が、アルバムを持ち帰りに広まり、1985年ごろには大ヒット曲となった。その後、中学校の音楽

「カンタ ココロノトモ」の授業で課題曲にもなった、五輪真弓さんの歌「心た、とのことです。この歌がインドネシアでヒットした1980年代

「あなたから苦しみを奪えたその時 私にも生きてゆく 勇気がわいてくる あなたと出会うまでは孤独なさすらい人 その手のぬくもりを 感じさせて 愛はいつもフラバイ 旅に疲れた時 ただ心の友と私を呼んで……」

「あなたから苦しみを奪えたその時 私にも生きてゆく 勇気がわいてくる あなたと出会うまでは孤独なさすらい人 その手のぬくもりを 感じさせて 愛はいつもフラバイ 旅に疲れた時 ただ心の友と私を呼んで……」

インドネシア兵士の皆さんも聴いていたに違いありません。そして同時に、東ティモールの独立解放戦線の兵士や国民の皆さんも聴いていたに違いありません。僕はそ

う思います。ジャンクルの中で敵対する兵士の皆さんが、激しい戦闘の合間に、故郷や家族、恋人や友達への思いを馳せて聴いていたのではないのでしょうか。

そんなことを考えていたら、ふと、「リリー・マルレーン」のメロディーが浮かんで来ました。第2次大戦当時、売れ残りのレコードから店員がドイツ軍の前線慰問用レコードの中に2枚紛れ込ませたものが

「あなたから苦しみを奪えたその時 私にも生きてゆく 勇気がわいてくる あなたと出会うまでは孤独なさすらい人 その手のぬくもりを 感じさせて 愛はいつもフラバイ 旅に疲れた時 ただ心の友と私を呼んで……」

日本でも多くの日本人歌手によって、今も歌い継がれて来ています。「夜霧ふかくたちこめて 街角に やさしく佇む 恋人のすがた」といって リリー・マルレーン いとしい

「心の友」そして「リリー・マルレーン」。違いや立場を超え、人々の心に触れる何かを持った歌なのだと思えます。

北原 巖男  
（きたはらいわお）

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現（一社）日本東ティモール協会会長。（公社）隊友会理事